

これまでの部会意見の概要

■ 平成 27 年度 第 1 回にぎわい・きずな部会（平成 27 年 6 月 19 日開催）

- 辻委員 商店街の活性化。商店街の人だけではなく、区として一つイメージを持って取り組まないといけない。天神橋筋商店街は、外国の方がたくさん来て人の流れがある。どこかで何か魅力があり、努力をしている。そういうところに区としての援助、指導があれば。
- 中野副議長 平野川を活用して区のにぎわいを取り戻したい。平野川に船を浮かべよう。大川まで船で行けるようなまちづくり。夢を持って考えたい。商店街の活性化は後継者がいないので難しいが、昔のにぎわっていた商店街をどうやって呼び戻すか。自分たちで、模擬店舗を造りながら商店街化していけないかという考えもある。行ってみたいまち、住んでみたいまち東成区を作ろうではないか。東成区 11 連合が一つになるような活動、これがまちづくりではないか。
- 田中委員 商店街の活性を大事にしたい。店主のほとんどがお年寄りで、後継ぎがいない。シャッターの数も多過ぎて、地域で一つ二つ起こしたところでは、なかなか活性までにはいかない。商店会の会長さんを交えて話をしないとけない。
- 岡本委員 商店街は災害時の備蓄倉庫にもなるため、商店街の活気を取り戻すには、地域を上げて取り組んでいかないとけない。地域と一緒に何かやれることはないか。地域と商店街がお互いに話し合うつながりが大切。お年寄りを商店街へ連れて行ってあげたら喜んでもらえる。来やすさ、行きやすさに目を向ければ。中にはかなりのスピードで自転車が通り抜けて行き危険なので、そういうところも含めて、もっと来やすく行きやすい商店街づくりに取り組んでもらい、地域も協力したい。
- 北岸委員 地域に商店街が無いので、全体のテーマとしては乗れない。
- 松山議長 東成区の各地域にはこんなところがあったのかと感動を受ける何かがある。地元の人の知らない地域の資源もある。
- 松山議長 テーマは「にぎわいについて」。商店街をはじめ、自分たちのまちの地域資源をいかににぎわいにつなげるかを話し合いたい。

■ 平成 27 年度 第 2 回にぎわい・きずな部会（平成 27 年 8 月 28 日開催）

- 北岸委員 商店街はないが、地域で独自の活動をしている。地域の皆が集まれる機会や場所とするため、お祭りやハロウィンイベントなど、いろいろな催しをやっている。
- 岡本委員 商店街を自転車で通る人が多くいて、事故も増えている。利用者のことを考えてお店をやってもらいたいと、地域から商店街に意見を言っている。
- 松山議長 商店街に元気がないと地域の活力に響いてくる。商店街団体と地域の人や団体等を結びつけるネットワークづくりを支援し、元気な地域づくりをめざす「地域商業活性化推進事業」は非常にすばらしい。
- 中野副議長 すべての地域を一遍に活性化するのは難しい。エリアを区分してにぎわいづくりを考えてはどうか。人を集めるのは観光であり、3年から5年がかりで取り組んでいけばいい。部会メンバーで賛同を得ながらプロジェクトチームをつくって、行政と一緒にやっていきたい。いつまでも現実を話しているとなかなか前に進まない。
魅力のあるまちをつくるということに着眼する。魅力のあるまちには人が集まる。人が集まれば商店街は勝手にできる。どうすれば魅力のあるまちをつくれるのかということ部会で議論して進めていきたい。
- 辻委員 高齢者の人たちは商店街を頼りにしている。新聞の折り込みでは、スーパーは多いものの、商店街の商店は少ない。こうした広報活動も大事。「地域商業活性化推進事業」の中で地域や商店街をマッチングさせながら運営上の仕組みをつくり、商店の人たちがやっていてよかったなと思えるような援助をするべき。どう実現しようかということは、区役所も一緒に考えるべき。
- 桑田委員 シャッターの降りている店の内情を調べてみる。協力的な人がいれば安く貸してもらって交渉をし、若い人に週3日だけでも自分の店を持たせてみる。そういったシャッターを開ける方法を考えたほうが良いのではないかな。
- 松山議長 右から持ってきたものを左に売るといのは難しく、加工するとか、自分でつくるとか、何か一工夫、二工夫しないと人の気を誘うことができない。新たな空気を外から持ってこない、なかなか振るい立たせることができない。お年寄りが多いので、できたらお膳立てをしてほしい。一旦上昇気流に乗ると商店街の活性化というのは大いにあり得る。

- 松山議長 昔から商店街は地域の伝統文化、芸能、文芸などいろいろなものを担っており、今でも祭りなどでは地域活動の一翼を担っている。「地域商業活性化推進事業」の取組み例では、地域商業の活性化に係る協議会等の開催、商店街を含めた地域マップ、広報誌の制作、地域団体等と連携したイベントの開催等とある。

- 中野副議長 地域協議会等を設立し、開催することで、具体の取組みは考えられる。課題解消にはならなくても何かの方向付けはできるのではないか。本当に前向きに本気度を出しながら活動しないといけない。この区政会議では決定権がないので何もできないことはわかっている。こうした話はどこでまとめるのか。

- 松山議長 商店街では何かしたいけれども活動する人がいないし、どうしたらいいのかもわからないのでなかなか手を挙げるのは難しい。商店街の人に部会に来てもらい、「一緒に考えていこう」というところから始めて、コーディネーターを頼んで、他所はどんなことをやっているのかも勉強し、そこから連携をして何かやらないと前へ進んでいけない。申請とか書類作成は商店街の人が一番苦手とするところなので、区役所と役割分担していけば何とかなる。委員や商店街の責任者はいろんな考え方を持っているけれども、なかなか前へ行かないというのが現実。みんな考えてやらなければならない。ふれ愛パンジーでそういう会合をして、少しでもヒントが出ればいいと思う。

■ 平成 27 年度 第 3 回にぎわい・きずな部会（平成 27 年 10 月 22 日開催）

- 梅本委員 シャッター通りの古い店舗を利用して、美術とか芸術に若い人に参画してもらおうというニュースを見た。東成区の商店街もシャッターが多くあるので、具体的にみんな考えて商店街がにぎわったら。イベントもいいが、恒常的ににぎわいを作れたら。モノづくりの人たちの力を借りて補助的にやっていただきたい。
- 桑田委員 モノづくりを動画で紹介してもらい、編集もまとめ方も良い。工業関係のモノづくり以外にもいろんなメーカーもある。また、モノづくりに限らず商売のほうも東成の魅力として広げていってもいい。
- 中野副議長 住民が一つになって活性化に向けて動き、そして住民だけでなくよそから人が入ってくることで活気や活力のあるまちになる。そのために、まずは一番に東成区の観光施策を進める。商店街の活性化が課題であるが、観光施策を考えることによって充実してくると考える。めざすところは何か、大きなテーマを一つ立て、具体化して行って達成していきたい。
- 松山議長 深江の歴史文化祭りで歩き、説明を聞いたところ、東成区内にこんなすばらしいところがあるのかと思った。また、鶴橋にもそういう地域資源というのがたくさん転がっている。ものだけでなく、人も地域資源。一度、委員全員で東成区を歩きたい。新しい発見が幾つも出てくると思う。
- 山本委員 商店街で「ひがしなり街道玉手箱」の催しをやることは非常に良い。これからも続けてもらいたい。
- 松山議長 商店街が疲弊していきっているというのは、やはり後継者不足というのが大きな原因が非常に大きい。しかし、新しい感覚で新しい取り組みをしている店はこの厳しい商店街の中でもそれなりに頑張っている。
- 中野副議長 東成区には各連合の特性というのがあり、その地域性に応じたまちづくりを考えていって、それが一つになり、東成区のまちづくりを作り上げたらどうか。一遍で 11 連合を良くしようと思ったら並大抵ではないが、一つ一つよくしていったら大きな東成区ができるのではないかな。区長からの提案のまち歩きは非常にいい話。まち歩きしながら、「このまちはこんなまちにしたらええな」という感じで、地区の特徴・特性に従ったまちづくりをやってはどうか。半年間はどこそこに力を入れよう、次の半年はどこそこ、11 連合やったら 5 年 6 カ月で何らかの形が生まれるのではないかな。

■ 平成 28 年度 第 1 回にぎわい・きずな部会（平成 28 年 6 月 17 日開催）

- 岡坂委員 大成の松下幸之助の起業の発祥の地。ヤン・ソギルの「地と骨」の舞台
- 松山議長 東小橋の比売許曾神社
- 吉田委員 太閤さんの検地書

- 細谷委員 新道の商店街はお年寄りばかりが行くから、接骨通りというぐらい接骨院が
できている。どうしたら若い人に目を向けてもらえるか、中学生ぐらいの人に知恵をも
らわないと。
東成区のにぎわいづくりについて、中学生ぐらいの人に呼びかけて、若い人たちから
意見を取り入れては。
- 松山議長 若い子の知恵を借りる方法として、部会として作文などを募集して、何かい
いお話が出てきたら、そこで景品出すだけでなく、僕らが手伝って何か実現させると
かどうか。

- 北岸委員 北中道では中学生をどうやって地域に入ってもらおうかというので動いてい
る。
- 松山議長 この課題は東成区全体の課題でもある。防災に関してもやはり若い力。中学
生が一番大事な岐路に立っている時期やからなかなか参加してもらえていない。

- 松山議長 去年、話に出たまち歩きをしようかと。東成区には何か地域資源がたくさん
あるので、ちょっと具体化したものを区役所に提言できるようにしていきたい。次の時
にはひとり歩きでもいいからまちを歩いて、「こういうふうにしなないとにぎわいはもた
らされないよ」とかの意見をお願いします。